

## Bスポット療法について

のどの一番上の部分のことを上咽頭といいます。この部分の炎症に対して 塩化亜鉛液という炎症を治す薬を塗る治療をBスポット療法と呼びます。

上咽頭の炎症(上咽頭炎、鼻咽腔炎)に対しての一般的な治療（ネブライザー治療や飲み薬など）と合わせた補助的な治療法の一つとなります。

残念ながら、なぜ病気に対して有効であるかはまだわかっていません。

しかし一般的な治療と合わせて行うことで効果を発揮し、炎症に伴う症状が改善することがあるとされています。（もちろん効果のない方もいらっしゃいます。）

当院ではこの度、Bスポット療法を始めました。

ご希望の方は本間悠介医師の外来で申し出てください。（あくまでも補助的な治療であり希望される方のみとなります。医師の方からお勧めすることはありません。）

### 当院での治療について

- ご検討したい方は本間悠介医師の外来を受診してください。  
（※本間和代医師の外来では行っておりません）
- 初回時も含めBスポット療法中は定期的に鼻から内視鏡を入れて、  
トラブルがないか上咽頭の状況を確認します。
- Bスポット療法はあくまで補助的な治療であり、併せて飲み薬や  
ネブライザー治療を行います。
- 口から口蓋垂（のどちんこ）の裏側に曲がった綿棒を入れて  
1%塩化亜鉛液を上咽頭に塗ります。
- 1 から2週間に一度の通院となります。  
（効果には個人差があります。数回繰り返して効果がないようであれば  
中止します）
- Bスポット療法中は合併症・副作用（痛みや出血、痰がらみやのどの  
違和感など）を伴う場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては一時的に治療を  
中断させていただく場合もありますのでご理解のほどよろしくお願い  
いたします。